

吉野川市 議会だより



令和5年12月議会定例会

| | |
|------------|----|
| 新議員紹介 | 2 |
| 令和5年第1回臨時会 | 3 |
| 委員会審査 | 5 |
| 代表質問 | 9 |
| 一般質問 | 11 |
| 委員会行政視察報告 | 14 |

お正月遊びを
したよ♪



吉野川市公式キャラクター
ヨッピー・ピッピー



議会HPは
こちらから確認！

八坂児童館（山川町）

市議会議員
補欠選挙
当選者決まる

10月22日執行の吉野川市
議会補欠選挙において次の
方が当選しました。



菊川 充憲 議員
鴨島町鴨島

会派・委員会構成の変更がありました

委員会構成

【常任委員会】

■総務常任委員会

委員長 北川 麦
副委員長 近久 寛
委員 河野 利英
柴原 五男
塩田 智子
田村 修司
山添 純二

■文教厚生常任委員会

委員長 藤原 一正
副委員長 福岡 正
委員 阿佐 勝彦
谷田 憲二
細井 英輔
菊川 充憲
川村 洋樹

■産業建設常任委員会

委員長 枝澤 幹太
副委員長 中西 涉
委員 岸田 益雄
原田 由一
相原 一永
岡田 光男

【議会運営委員会】

委員長 川村 洋樹
副委員長 岸田 益雄
委員 枝澤 幹太

一部事務組合議会議員

■阿北火葬場管理組合
議会

委員長 岡田 光男
副委員長 近久 寛
委員 中西 涉
河野 利英
田村 修司
北川 麦

【議会広報特別委員会】

委員長 谷田 憲二
副委員長 岸田 益雄
委員 阿佐 勝彦
相原 一永
岡田 光男
山添 純二
北川 麦

【DX推進特別委員会】

委員長 藤原 一正
副委員長 福岡 正
委員 阿佐 勝彦
相原 一永
岡田 光男
山添 純二
北川 麦

【監査委員】

山添 純二

広域連合議会議員

■徳島中央広域連合
議会

細井 英輔
相原 一永
岸田 益雄
福岡 正

会派構成

吉野川政友会いろは

◎原田 由一
○福岡 正
☆阿佐 勝彦
柴原 五男
近久 寛
中西 涉

薫風会

◎枝澤 幹太
○河野 利英
☆岸田 益雄
塩田 智子
細井 英輔

志誠新進クラブ

◎田村 修司
○☆谷田 憲二
○☆山添 純二
○☆藤原 一正

公明党

相原 一永

日本共産党

岡田 光男

市民ファースト

川村 洋樹

民主クラブ

北川 麦

みのり会

菊川 充憲

令和5年第1回臨時会 審議結果一覧

| | 議 案 名 | | 結 果 |
|-----|-------|----------------------------------------|------|
| 選 挙 | — | 中央広域環境施設組合議会の議員選出について | 指名推選 |
| | — | 徳島県後期高齢者医療広域連合議会の議員選出について | 指名推選 |
| 報 告 | 報第19号 | 専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について) | 原案可決 |
| その他 | 議第70号 | 吉野川市新ごみ処理施設整備に係る造成工事の変更請負契約の締結について(追認) | 原案可決 |
| 人 事 | 議第71号 | 副市長の選任について | 同 意 |

石川県能登半島地震災害支援の募金箱を設置



本市では、令和6年1月1日石川県能登半島地震災害により被災された方々を支援するため、募金箱を設置しています。

次の場所に設置していますので、皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

【設置場所】

市役所本館1階市民課・川島支所・山川支所・美郷支所

【受付期間】

令和6年1月5日(金)～当面の間
(土日祝日を除く8時30分から17時まで)

●副市長

岡田 芳宏(鴨島町西麻植)

◇次の人事案件が提出され同意しました。

人事案件



議会を傍聴してみませんか

市議会では、生活に直結した重要な議案が審議されています。市政を身近に感じるためにも議会を傍聴してみませんか。議場内に設けられている傍聴席には座席が36席あり、車椅子スペースもあります。傍聴を希望される方は、市役所本館4階にある議会事務局までお越しください。

総務常任委員会

◆市長提出議案7件を審査

●令和5年度吉野川市一般会計補

正予算(第8号)について

問

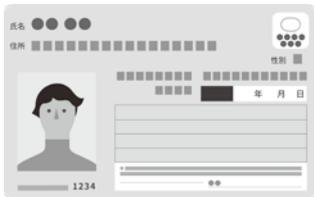
マイナンバーカードにふりがなを表記するために、住民基本台帳・戸籍システムの改修を行うとのことだが、すでにマイナンバーカードを所有している方はどうなるのか。

答

今回の改修は、マイナンバーカードのローマ字表記に先駆けて行うものである。

改正法の規定では、実際に戸籍や住民票にふりがな記載が行われるまでに2年、マイナンバーカードへのふりがなおよびローマ字記載までには、3年猶予期間が設けられている。

現在示されている案では、マイナンバーカードの漢字氏名の横にかっこ書きでふりがなが記載され、希望される方には、住所変更等を記載するための4行の追記欄に氏名のローマ字表



マイナンバーカード

記および西暦の生年月日が記載されることになる。

文教厚生常任委員会

◆市長提出議案3件を審査

●令和5年度吉野川市一般会計補

正予算(第8号)について

問

子どもはぐぐみ医療費の増額について、医療機関の受診が増えたとのことだが、主な要因は。

答

一般的には新型コロナウイルスが5類になったことにより、それまでは医療機関への受診を控えていた方の意識が変わり、受診件数が増えているものと思われる。

問

子どもはぐぐみ医療について、近年で比較し、金額はどのように増えているのか。

答

近年の各年度の月平均では、令和元年度が約1100万円、コロナ禍に入った2年度が約880万円、3年度約1000万円、4年度約1080万円、5年度は11月末現在で約1300万円と一気に跳ね上がった。

令和5年度は、ひと月あたり約1200万円を見込み、予算を計上していたが、4月から11月までの8カ月間の平均がほぼ

1300万円に達している現状から、増額補正をした。

●本市の福祉避難所はどこなのか。

本市では福祉避難所として、障がい者施設、老人保健施設、特別養護老人ホーム、宿泊施設等の17カ所を指定している。

問

配備している災害備蓄品の種類は。

答

福祉避難所には、保存食、保存水、栄養価の高いおやつ等を備蓄している。



災害備蓄品

令和4年度、令和5年度に全国大会に出場された方への補助金の実績は。

答

令和4年度は個人20件、団体8件の計94万円である。令和5年度は現時点で、個人

6件、団体6件の計63万円となっている。

コロナ禍が収束し、スポーツ大会や文化行事が再開されていることから、全国大会に出場される方が増加している状況である。

問

ヨコタ上桜スポーツグラウンドのシャワー室はどこに設置するのか。また、誰でも使用できるのか。温水と水シャワーの2種類とのことだが運用方法は。

答

グラウンド内のトイレ西側に、4基設置する予定であり、グラウンドを借りた方だけが利用できる。

運用については、水シャワー2基は無料とし、温水シャワー2基はガス湯沸かし器を使用するためコスト面を考慮し、有料とする。



ヨコタ上桜スポーツグラウンド

問 シャワー設備の使用開始時期は。
答 令和6年1月から3月まで工事を予定しており、4月から使用できるように進めている。

問 令和5年度吉野川市一般会計補正予算(第9号)について
答 令和5年度吉野川市一般会計補正予算(第9号)について

問 物価高騰対応重点支援事業の支給対象者への周知方法は。また、対象者が申請する必要があるのか。
答 今回の対象者は、夏に3万円を支給した方と同様になると思われ、プッシュ式で確認書を送付する。
中には拒否される方もいるため、送付してから10日から2週間程度期間をおいて振り込むことを送付する説明書に記載している。

産業建設常任委員会
◇市長提出議案9件を審査
●令和5年度吉野川市一般会計補正予算(第8号)について

問 川俣・重野尾線の災害復旧工事について、着工の時期、また今後の完成までの流れは。
答 美郷の川俣・重野尾線復旧工事の早期完成に向け、

議会の承認後は、令和6年1月中旬の工事発注を予定している。また、発注後は周辺住民の方に、工事着手の文書周知を図った上で着工する。

問 川島城テニスコート周辺の樹木伐採の経緯と業者選定の詳細は。
答 草刈りは定期的に実施しているが、現在は雑木が生い茂り、コート敷地内や隣接する民間施設に支障木が侵入している。

川島城テニスコートは夜間照明が設置された施設であるため多くの団体の利用があり、最近では川島城ライトアップに訪れる方もいることから、迅速な対応が必要であると判断し補正予算を計上した。業者の選定は、指名競争入札を行い、市内造園業者から選定する予定である。



川島城テニスコート

●向麻山公園の指定管理者の指定について
●バンブーパークの指定管理者の指定について

問 向麻山公園とバンブーパークの指定管理料について、前回と比べてどうなったのか。
答 向麻山公園の令和3年度から令和5年度までの管理料は年間268万円、令和6年度からの管理基準額は約300万円となり、約33万円増となっている。

バンブーパークは、令和5年度までの管理料は年間で760万円、令和6年度からの管理基準額は年間約870万円となり、約110万円増となっている。指定管理料の増額要因について

は、両公園ともに昨今の人件費の増、物価高に伴う光熱費、公園で使用する消耗品費等の高騰が主な原因となっている。



向麻山公園

●令和5年度吉野川市一般会計補正予算(第9号)について

問 他市では業務用電力であれば小規模でも支援金を支給しているとのことである。本市でも、コンビニ業界から支援金の要望がきていると思うが、どのように対応しているのか。また、飼料高騰の影響を受ける酪農家に対する支援を考えたのか。
答 おえクープン事業を、事業者支援と生活者支援の両立を図る事業として、現在実施している。国の交付金規模が約1.1億円であったこと、小規模事業者や小規模農家が大部分を占める

という本市の実情、国の推奨事業
メニューには中小企業や農林水産
事業者等以外にも、医療・介護・
保育施設・学校施設等への支援も
例示されていること等を総合的に
勘案した。

今回の支援対象については、一
部の業種等に限定せず物価高騰の
影響を受けた事業者を幅広く支援
する包括的な事業者支援となるよ
う、先進自治体を参考に事業を計
画し、予算計上したものである。

問

高齢の事業者や農業者に
とって、支援金等の手続
きが書類だけではわかりにくいと
の声を聞くが、どのように対応し
ているのか。

答

事業の周知等については、
個人通知と合わせて、ホー
ムページや広報、文書の末尾に「お
気軽にお問い合わせください」と
文言を添えるなどして対応してい
きたい。

議員提出議案

●日本政府に保育所等保育施設の
職員配置基準改善等を求める意
見書

提出議員 阿佐 勝彦
異議なしで原案可決

●健康保険証の廃止を中止するよ
う求める意見書

提出議員 岡田 光男
異議なしで原案可決

人事案件

◇次の人事案件が提出され同意し
ました。

●固定資産評価審査委員会委員
岡田 一則（鴨島町敷地）

定例会はどのように進められるの？

定例会が始まると、本会議や
委員会が開かれます。また、本
会議では議員が議案とは関係なく
市政全般について質問する一
般質問も行われます。



本 会 議

開 会

提案理由の説明…市長が議案について説明します

質 疑……………議案について議員が質問します

一般質問……………議員が議案とは関係なく市政全般の質問や提案をします

委員会付託……………詳しく話し合うため議案を委員会に付託します

委 員 会

議案審査……………付託された議案について詳しく審査します

採 決……………委員会として議案に賛成か反対かを多数決で決めます

本 会 議

委員長報告……………委員会で話し合った結果を委員長が報告します

質 疑……………報告結果について他の議員が質問をします

討 論……………議員が賛成・反対の意見を述べます

採 決……………議会として議案に賛成か反対かを多数決で決めます

閉 会

「こ」が聞きたい

代表・一般質問

※誌面の都合により要旨のみを掲載しています。
詳しくは、市議会ホームページの会議録をご覧ください。
(二次元コードを読み取れば、会議録が確認できます。)



12月議会定例会では8名の議員が代表・一般質問を行いました。

●の質問を中心に取り上げました。

代表質問

近久 寛 (吉野川政友会いろは)

- 令和6年度予算について
- 公共トイレ増設について
- 小中学校の校則見直しについて
- オーガニック給食について
- 不妊治療について
- 犯罪被害者等支援条例について
- 北海道仁木町との交流のあり方について

岸田 益雄 (薫風会)

- 2期目の市政運営について
- 行財政改革の取り組みについて
- 高越山ヒルクライムレースについて
- 消防行政について
- 特別支援教育について

一般質問

谷田 憲二

- 過疎地域の活性化について
- 公園施設の効果的な利活用について
- こども園等における保育および職場環境について
- HPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチン接種について

塩田 智子

- 「こどもまんなか」への取り組みについて
- 带状疱疹ワクチンの助成について

中西 渉

- ごみ減量について
- 交通弱者への支援について

岡田 光男

- 市から国県への要望について
- 子どもはぐくみ医療費助成制度について
- 有害鳥獣被害について
- 奨学金制度について

栗原 五男

- 学校給食費について
- 振り込み詐欺について
- 地域おこし協力隊について
- ふるさと納税について
- YouTube配信について
- デジタル地域通貨について
- 本市のスポーツ振興策について
- タブレット端末の状況は

阿佐 勝彦

- 瀬詰大橋の安全確保について
- 保育所及び認定こども園での不適切保育対策について
- ヨコタ上桜スポーツグラウンドの駐車場について
- 庁舎屋外トイレについて



吉野川政友会いろは
近久 寛
ちか ひさ
ひろし

問

JR阿波川島駅にトイレを設置しては

答

設置に向けてJR四国と協議していく

問

近年、JRは列車内にトイレを設置し、駅舎のトイレを廃止している。阿波川島駅でもトイレが閉鎖され、県立川島中学校・高等学校の生徒などがトイレを利用できず困っている。駅周辺の市民からは、「知らない人がトイレを借りに来るので怖い」「家の周りで用を足してしまう人がいる」などの声がある。

阿波川島駅トイレの閉鎖直後、市教育委員会から児童・生徒の利用のことを考え、トイレ再開を要請し、本市議会においてもトイレの再開を求める決議をJR四国に提出したが、再開されていない。しかし、自治体から公衆トイレの整備や駅の活用などの提案があれば協力するとの回答であった。

県の施策として、公共交通機関の利便性を高めるための取り組みに補助金交付がされると聞いているが、阿波川島駅にもト

イレを設置してはどうか。

また、多くの人が利用している駅だと思うが、利用状況は。

答

公共交通利用環境改善モデル事業では、地域公共交通の活性化を図り、利用環境改善や利用促進を目的として実施する取り組みに対し、県が2分の1以内の補助金を交付する事業で、駅に公共トイレを設置する場合についても該当する。多くの方が利用する駅に公共トイレを設置することは、市民の利便性が向上するとともに、安全・安心が確保されることから、今後設置に向けてJRと協議していく。

県立川島中学校・高等学校生の駅の利用状況は、令和5年5月で、中学生は122人中46人、高校生は356人中162人である。乗降客数は令和4年度で1日あたり658人と、市内では鴨島駅について多い駅である。

【その他の質問】



阿波川島駅

問

学校給食にオーガニック米を導入しては。

答

オーガニック食材の摂取は健康維持に一定の効用があるとされているが、原材料の購入費用が高くなること、地場産物として、まとまった量の調達に難しいなど課題があり、導入について調査研究する。

問

市民が犯罪被害者となった場合の支援として、犯罪被害者など支援条例を制定しては。

答

本市では、相談があった場合には内容に応じて担当部署や関係機関と連携をとる体制を整えていることから、条例制定の予定はないが、全国でも4割近くの市町村が制定しており、制定の必要性も含めて調査研究していく。

問

小・中学校の校則見直し
の現状は。

答

校則および校則のあり方の見直しに関する留意点を令和3年6月に策定し、各小・中学校において校則の運用・見直しに取り組んできた。今後も学校と連携して時代に応じた校則の運用などに取り組む。

問

不妊治療に対する新たな
取り組みは。

答

子どもを望む夫婦が不妊治療をより受けやすい環境が提供できるよう、市独自の不妊治療助成制度の創設について、調査研究したいと考えている。



岸田 淳風 会
益雄

問

すべての子ども政策を一元的に担う
専門部局を設置すれば

答

本市にとって望ましい組織体制の
あり方を検討していく

問

発達障害の対応には、早期発見・早期療育が必要である。本市の1歳6カ月児、3歳児健診ではスクリーニングが行われているが、現在の状況と近年の推移、こども園等の巡回健診などの状況は。

また、市町村教育支援委員会の調査・審査対象となった全国の小学校就学予定者数は、平成21年度と令和4年度で比較し、ほぼ倍増している。本市の現状、小・中学校の特別支援教育対象者の人数とその対応は。

答

本市では1歳6カ月児、3歳児健診時に発達検査および相談支援を実施している。また、3歳児健診では「新版K式発達検査」に基づいて、発達段階の確認を行っている。過去10年間で要経過観察の割合は、1歳6カ月児健診では30.4%から多い年で42.2%、3歳児健診では46.7%から多い年で57.0%を要経過観察と

判断している。保育所およびこども園では、4歳児の6月に専門機関による発達チェックを実施し、支援が必要と思われる場合には、保護者に伝えて療育支援に繋げている。

教育支援委員会の審議件数は、平成21年度65件、令和4年度の小・中学校に設置され、小学校36学級144名、中学校12学級54名が在籍している。通級指導教室は、小学校2校に3教室設置し28名が在籍している。

問

本市の全小学生の9%、全中学生の7%が特別支援学級または通級指導教室に在籍しているが、十分な特別支援教育が可能なのか。今後増えると思われる特別な支援を必要とする児童や生徒たちに、教育委員会としての対応は。

また、来年度から子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を合わせた「こども

家庭センター」が設置されるが、発達支援の子どもや保護者のためにも、健康福祉部や教育委員会など行政の垣根を越えて一元化した子ども政策の専門部局を設置しては。

答

特別支援教育を充実するためには、教員の指導力向上が重要であり、適切な支援が行えるよう教員の意識と指導力向上を図る。本市独自で全ての小・中学校に市特別支援教育支援員を配置しているが、学校からさらなる増員希望もある。

県教育委員会に対しても、より一層、特別な支援にあたる教員の増員要望を行う必要性を感じている。子ども一人一人の特性や教育的ニーズに的確に対応し、教育のさらなる充実・整備に全力で取り組む。

全ての子ども政策を一元的に担う専門部局の設置は、センターの運営状況や保護者からの

意見を勘案して、本市にとって望ましい組織体制のあり方を検討する。

【その他の質問】

問

市長トップセールスによる本市のPRを積極的に進めては。

答

市長自らが先頭に立つて積極的に県外へ飛び出し、物産PRや移住者の獲得、企業誘致などのセールスを行う。

問

公の施設の使用料を見直しては。

答

統一的な基準を設け運用の抜本的な見直しを図る。

問

高越山ヒルクライムレースへの取り組みは。

答

準備委員会を立ち上げ機運を盛り上げていく。

問

救急需要が増加しているが、救急車の更新は。

答

阿波市と十分に協議したうえで対応する。



谷田 憲二

問

過疎地域の活性化に向けての
取り組みは
包括的な過疎地域振興となるよう
取り組みを進める

問 旧美郷村に続き、山川町が新たに一部過疎地域として指定された。地域内には豊富な地域資源が存在しており、過疎地域の課題を解決し魅力的な地域として発展するために、この地域資源を生かして交流人口の拡大や観光振興の施策が必要と思うが市の取り組みは。

答 また、都市部からの人材を受け入れ、地域の活性化が期待できる地域おこし協力隊制度の活用と今後の活性化に向けての取り組みは。美郷地区では、梅・石積み・ホタルなど豊富な地域資源を生かしたさまざまなイベントを開催し、交流人口の増加を図っており、山川地区にも、阿波和紙やオンツツジ・高越山など魅力的な地域資源がある。特に高越山では令和3年度に寄付金を活用し、登山マップの作成や公衆トイレの設備を行った。

また、本年度は商工会と連携し登山の合目表示看板を設置した。過疎地域への地域おこし協力隊招聘は必要であると考え、地域の振興を担うため2名の募集を12月1日から開始したところである。

地域資源を活用した効果的な取り組みを継続することが重要になり、今後は山川地区も加えた包括的な過疎地域振興となる取り組みを進める。

【その他の質問】

問 公園施設の効果的な利活用について、美郷のふれあい公園をモニタリング調査してみたい。

答 ふれあい公園の指定管理者と協議し、モニタリング事業の実施について検討していきたい。

問 名越峡広場施設利活用検討委員会の状況は。

答 12月中旬の委員会では、これまでの意見を集約した報告書を作成し、市に提言いただける予定となっている。この検討委員会の意見を踏まえ、名越峡広場の効果的な利活用について検討し、今後の方向性を決定したいと考えている。

問 本市の不適切保育等の状況は。

答 状況を正確に把握し、誠実な対応を徹底しており、現在のところ不適切保育はない。



塩田 智子

問

「こどもDoまんなか会議」で
出た意見の反映は
こどもまんなか社会の実現に
向けて、施策の検討を進める

問 本市は、今年5月に市議会において6月に県内の他の自治体に先駆けて「こどもまんなか応援サポーター」を宣言した。議会と行政がそれぞれの視点から子育て支援の充実に向け、検討を進めている中、「第1回吉野川市こどもDoまんなか会議」が開催されたが、当日の状況と子ども意見の反映は。

答 会議には、市立の小・中学校と市内の高等学校の代表者、計36名に参加いただいた。会場をメインとサブに分け、メイン会場には子どもたちと、市長、議長、教育長とファシリテーターとして市の若手職員が参加し、子どもたちが意見しやすいよう大人の人数を最小限に開催した。サブ会場では、大型スクリーンを設けて、どなたでも視聴いただける会場とし、各学校にもオンラインによるライブ配信を行った。

会議では4つのテーマの中から投票により2つのテーマに絞り、子どもたちが多くの意見が述べられるよう、7つのグループに分け、たくさん意見をお願いした。「こどもDoまんなか会議」での意見と、夏休みに作文形式でいただいた意見を合わせて、市ホームページに公開するよう予定している。また、子どもたちからの意見を市職員で共有し、子どもをまんなかに据えた、こどもまんなか社会の実現に向け、施策の検討を進める。



「こども Do まんなか会議」の様子

【その他の質問】

問 带状疱疹ワクチン助成制度の創設は。

答 国の動向を注視し、先進自治体の状況を調査研究していきたい。



なかにし わたる
中西 渉

答

問

ごみ減量の現状と今後の考えは

より効果的なごみ減量施策を行えるよう引き続き取り組んでいく

問

ごみに関する問題は、本市だけでなく世界的に起こっている問題だ。ごみの減量は、環境への負荷を軽減し処理に掛かるエネルギーを削減することにもつながる。

毎年本市でもさまざまなごみが大量に発生しているが、ごみに関する問題に対して、どのような取り組みが行われているのか。また、今後のごみ減量への考えは。

答

現在整備を進めている、新ごみ処理施設の稼働に向け、目指している処理経費削減額、年間約2億円をさらに上乗せさせるために「宝のごみ」もつたない「プロジェクト」と題し、実施している。

本市では、これまで資源化ごみ集積所の設置、ごみ分別アプリなどによる資源化の推進等、さまざまな取り組みを実施してきた。また、市民の皆さまに新たな取り組みを発信し、知っていただくとともに、今一度ごみ減量の必要性を認識していただき、これまで以上の効果を出すことを目指している。

現在、リユース1件、リサイクル3件、計4種類の取り組みを実施実

験という形で実施しているが、全ての取り組みにおいて実績がでていく。

実証実験を通じて課題を洗い出すとともに、先進自治体の事例などを調査研究し、さらなる取り組みも視野に入れ、より効果的なごみ減量施策を行えるよう、引き続き取り組んでいく。



川田地区モデル集積所

【その他の質問】

問

高齢者等外出支援タクシー料金助成事業利用者の意見とその対応は。

答

「介護タクシーでも助成券を使えたら助かる」等の要望や制度見直しとなる意見を受け、令和5年度は制度の助成対象となる条件の一部を緩和した。



おかだ みつお
岡田 光男

答

問

県の子ども医療費助成拡大にあわせて自己負担なしの完全無償化としては

自己負担は従来どおりとするが新たな子育て支援策を進めたい

問

県が子ども医療費助成の対象年齢を令和6年度から拡大するが本市での影響は。また、自己負担なしの完全無償化とならないのか。

答

県の「子どもはぐぐみ医療費助成事業」の対象年齢が、現在の中学生までから18歳に達した3月末までに拡大されることにより、約1200万円の負担が減少する。

本市独自で自己負担なしの完全無償化とした場合、約1200万円の負担減を差し引いても約820万円の負担増となることから、従来通り1レセプトあたり600円の自己負担をしていただくよう考えている。

しかし、負担額の減少分を財源として、新たな子育て支援策について検討を進めたい。

問

新たな子育て支援策を進めることだが、新生児訪問時に紙おむつを支給しては。

答

そのような事業も含め、今後、市民の皆さまの意見を伺いながら新たな子育て支援策の構築に向け、取り組んでいきたいと考えている。

【その他の質問】

問

市から国・県への要望は。

答

市長会を通じて毎年要望を行っている。継続要望してきた結果、18歳に達する年度末までの医療費無償化に対する県助成制度の拡大が実現した。

問

ハクビシンによる農作物被害が急増しているが、対策は。

答

駆除について対象となるように委託契約の見直しを前向きに検討したい。

問

本市の奨学金制度は3年間新たな申し込みがないが、返済不要の制度とすべきではないか。また、どのような周知方法なのか。

答

現行の奨学金制度を通じて、意欲ある学生の支援を行い、教育の機会の提供に繋げていく。市のホームページから書類をダウンロードできるようにするなど、利便性を高めていきたい。

令和5年12月議会定例会 一般質問



原五男

問

デジタル地域通貨を導入する
考えは

自治体DX時代にふさわしい地域
経済活性化の在り方を検討する

問 近年、全国でデジタル地域通貨に注目が集まっており、多くの自治体で導入されている。

近隣自治体では、美馬市が令和4年10月から導入、石井町も令和6年度から導入することを表明している。

このデジタル地域通貨は特定の地域内で使える電子通貨であり、スマートフォン等を使って加盟店や公共施設で利用できる地域独自のキャッシュレス決済の仕組みのことである。自治体ポイントを付与することもできることから、市のさまざまな事業や啓発活動との連携も可能であり、幅広い活用が期待できる。

また、本市での「プレミアム商品券」や「おえクーポン」等、従来型の紙ベースの商品券を電子化することにより、利用状況を管理できるため、業務負担の軽減にもなり地域経済の活性化にもなる。

近隣市町のモデルを参考にし、本市もデジタル地域通貨を導入するべきだと思いが市の考えは。

答 デジタル地域通貨について、令和4年3月定例会で、導入経費、コスト面において課題がある

ことから先進自治体等から広く情報を収集し、地域経済の活性化に向け、調査研究するとの答弁を行った。

本年度実施した市内中小企業等への企業訪問では、「PayPay」などの既存民間決済サービスとの連携について意見をいただいている。

市民の皆さまや市内商工団体等からデジタル化についての要望は、現時点では導入する考えはないが、近隣市町の状況を注視する。

既存民間決済サービスとの連携も含め調査研究を行い、自治体DX時代にふさわしい地域経済活性化の在り方を検討する。

【その他の質問】

問 市の状況等を「YouTube」で配信して収益化しては。

積極的なPRに努め、その上で収益化について検討したい。振り込め詐欺被害防止の機械の無償貸与は。

徳島県警が無償貸与しているので、制度紹介を行っている。



阿佐勝彦

問

瀬詰大橋の安全確保に向けた歩道
設置を県へ要望しては

まずは歩行者などの利用状況を
確認調査することを要望したい

問 瀬詰大橋は多くの方が利用しており、安全性を確保するため歩道設置は本市の重要課題と捉え県へ要望してきたが、現在までの改良状況と今後要望する予定は。

答 幅員が狭く、車道部と分離した歩道を設置する余裕がない橋梁（きょうりょう）になっていることから歩道幅を広げる対応は困難な状況である。

しかし、地元要望などを踏まえて継続した要望を行ってきたところ、現状で安全性が向上する取り組みとして、橋面のアスファルト舗装更新による水たまりの解消、路肩部の青色カラー舗装実施による運転手への視認性向上の対策などが令和2年度に講じられた。

今後、事業進展のために、まずは実情を把握することが必須と考え、瀬詰大橋を通行する歩行者、自転車などの利用状況を確認調査することを県へ要望したい。

【その他の質問】

問 保育所およびこども園での不適切保育を発生させないため、外部評価を活用した第三者評価の実

施や、子どもと保育士を守るため見守りカメラの活用は。

答 第三者評価を実施し、教育保育施設の質の向上に努める。見守りカメラについては、国の補助内容を確認し、他市町村の状況も勘案しながら調査研究していく。

問 ヨコタ上桜スポーツグラウンドの駐車場について、今後多くのチームが参加した時の対応は。

答 活用できる駐車場情報を提供していく。
問 市役所屋外トイレを洋式トイレに設置替えしては。

答 洋式トイレ化の必要性はあるが、優先順位を決めつつ順次実施していきたい。



瀬詰大橋

委員会行政視察報告

総務常任委員会

〔令和5年11月13日～14日〕

兵庫県姫路市

◆A-1の活用について

姫路市では、市の業務に積極的にA-1を活用する取り組みが進められている。A-1チャットボット、音声認識A-1による議事録作成、A-1OCR・RPAの活用、音声認識A-1を活用した電話相談記録実証実験について説明を受けた。

多様化・複雑化する市民ニーズに対してサービスの質を維持しつつ、全庁的な事務処理コストの削減や職員負担の軽減を図る方法として取り組まれている好例である。

鳥取県倉吉市

◆鳥取中部地震の被害状況や防災対策に学ぶ

倉吉市と吉野川市は、災害時における相互応援に関する協定を結んでいる。



倉吉市は、鳥取中部地震を経験したことで、平時からの備えや自主防災活動の活性化を進めている。例えば、手助けや声かけが必要な人、声かけができる人、避難先などの情報が書かれた「支え愛マップ」を作っている。これは避難に役立てるだけでなく、作る過程で話し合いをすることで、日頃からのつながりを得る取り組みとなっている。

文教厚生常任委員会

〔令和5年9月26日～27日〕

愛媛県伊予市

◆こども家庭センターについて

伊予市では、来年度から設置が努力義務とされている、こども家庭センターを先行して設置している。子育て・母子保健関係部局だけでなく、教育委員会とも連携し、不登校や引きこもりの子どもへの対応もできるようになっている。

また、「児童センターみんくる」は、屋上広場もある広いスペースを使うゆったりとした児童福祉施設である。

広島県三原市

◆児童館ラブラフの運営について

三原市では、児童館の移転をきっかけに、利用者数、特に中高生の利用増を目指し、子どもの意見を聞き、一緒に作る取り組みを行った。また、移転後も継続して子どもから意見を聞き、それを反映させながら運営を行うことで、さらなる充実を図っている。

中高生の居場所でもあり、スタッフとして活躍する場ともなっている。さらには中高生に刺激を受けた小学生や大学生、保護者も加わることで世代を超えた活動が広がり、地域全体で子育てをする拠点となっている。



産業建設常任委員会

〔令和5年9月27日～29日〕

富山県氷見市

◆サイクルツーリズム関連事業について

氷見市を含む富山湾岸サイクリングコースがナショナルサイクリングルートに指定され、その効果を最大限に発揮する取り組みを進めている。走行環境の整備、受け入れ環境の充実、情報発信の強化、近隣自治体・民間事業者との連携強化、サイクリングイベントの実施など、多岐に渡る内容で効果を上げている。

福井県大野市

◆有害鳥獣処理施設について

大野市は、有害鳥獣処理の負担軽減を目的とし、平成30年度に施設を整備した。

バイオトイレの原理を活用し、おがくずに含まれる微生物を利用して分解処理を行う施設で、導入後は捕獲者の負担軽減が図られ、捕獲頭数が大幅に増加している。



福井県福井市

◆未来へ、つなぐ福井の農業を活性化プロジェクトについて

福井市は、農業後継者不足の解消、農業活性化のために先進的なプロジェクトを行っている。首都圏販路拡大、産地直売サイトのオープン、新規就農の支援、6次産業化などの取り組みを一体的に進めている。

委員会行政視察報告

DX推進特別委員会

〔令和5年11月15日〕

徳島県議会

◆議会におけるタブレット機器の導入と活用について

徳島県議会では、議会運営や業務のさらなる効率化を図るとともに、情報収集や調査活動の活性化等による議会機能の充実・強化を図るためにタブレット端末を活用したペーパーレス会議システムを導入した。令和4年2月定例会から紙併用運用を終了し、完全ペーパーレス化による運用を開始している。



ペーパーレス化により、議会で使用する印刷用紙を年間約40万枚削減できている。他の効果として、本会議・委員会において議員・理事者間の資料共有が容易になる点、過去の議案書・

予算書のデータがクラウド上で閲覧が可能となり政策の調査研究の効率化が図れた点が紹介された。

また、同時に導入した連絡用アプリケーションを活用することで、事務局から議員への連絡・通知が容易になるとともに、文書配布時に生じる郵送費等の経費削減も図れている。

実際に機器を操作しながら研修を受けることで、導入後のイメージをつかむことができた。

行政視察受入状況

●令和5年11月8日

高知県四万十市議会

教育民生常任委員会

高齢者等外出支援タクシー
料金助成事業について等



自宅から議会の状況を視聴できます

本会議および常任委員会はケーブルテレビで放送されています。



●日本中央テレビ（111ch）

●ケーブルネットおえ（112ch）

句感 よしのがわ

山川町にある八坂児童館でお正月遊びの行事が行われ、巨大かるた取りやたこあげで子どもたちが楽しみました。

巨大かるたが配られると、みんなでにぎやかに札を取り合っていました。たこにはそれぞれが好きな絵を描き、グラウンドにはたこあげをする元気な子どもたちの声が響きました。

自分たちで作成し、体を動かして楽しむ昔ながらのお正月遊びは、デジタルゲームに親しむ現代の子どもたちにも好評でした。



大きなたこにどんな絵を描こうかな

クイズ

「？」に当てはまる言葉は何でしょう。
池 (川島町) ひらがなも可



大正池は、大正時代に築造された古いため池です。堤高16.5mで受益面積は22haあり、浮き浅棧橋を備えた公園としても慕われています。また、池の周辺には、遊具広場やソフトボール場が整備されており、市民の憩いの場となっています。少し上に登ると上桜森林公園があり、吉野川市を一望できます。

● 正解者の中から抽選で10名様に吉野川市の特産品を進呈します。(議事事務局まで受け取りにお越しください。)

● 応募方法 はがき、またはFAXにクイズの答えと郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号をご記入の上、吉野川市議事事務局までお送りください。
「チョットひと言」添えてみませんか。

● 応募先 〒776-8611 吉野川市議事事務局

TEL(0883)2212241
FAX(0883)2212242

● 締切日 令和6年3月29日(消印有効)

チョットひと言

★市役所前の菊人形を見る度に小学生の頃、有楽座の菊人形開催時日曜日ごと、舞台上で日舞出演していたの思い出します。(上田やま)

(前回の解答) 「湧水」

あそびがま



広島県安芸高田市議会が、一般質問の動画などをYouTubeで発信し、全国的な注目を集めている。

こうした動画配信の取り組みは、全国の市議会で行われ始めており、地方議会の透明性や参加意識の向上に大きな影響を与えていると思われる。動画発信により、いつでもどこでも議会の様子を見ることができるようになることで、議会への関心が高まり、議会がより身近なものとなる。

また、このような情報通信技術の向上は、議会と市民のコミュニケーションの活性化にもつながっている。今までは市民が議会と直接交流する機会は限られていたが、市民は議会への質問や意見を簡単に送ることができるようになり、議会と市民の間で、より活発な意見交換が可能となった。

地方議員が市民の信頼を獲得するためには、議論の透明性や政策の説明責任を重視し、議会の活動をオープンにすることが求められる。また、市民の声に耳を傾け、ニーズや意見を反映した政策立案など、市民視点での議会運営も必要とされている。SNSなどを活用し、議会と市民のコミュニケーションをさらに活性化することが重要だ。

情報通信を活用した取り組みは、地方議会のあり方を大きく変える可能性を秘めており、地方議会には、こうした取り組みを参考に、市民に信頼される議会を目指すことが期待されている。

我々も、より身近で活力ある議会へと発展させていかななくてはならないと考えている。

- 【編集委員】
- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 岡田 光男 |
| 副委員長 | 近久 寛 |
| 委員 | 中西 涉 |
| | 河野 利英 |
| | 田村 修司 |
| | 北川 麦 |